

1	金	交通安全教室(2歳児以上) 防災の日
7	木	カレーの日(祖父母交流) 子育てサロン
8	金	運動あそび(3歳児以上)
12	火	ピョピョひろば 読み聞かせ(5歳児)
20	水	お弁当デー
21	木	子育てサロン
22	金	リトミック
26	火	巡回相談
28	木	誕生会
29	金	避難訓練(通報)

\*今月も気温の高い日は水遊びを行いますので、水着の用意をお願い致します。また、涼しい日には、秋の自然に触れ合う機会を設けていきます。

夏休み中は、夕方にジョギングに出かけた。いつもの年なら、七月末にはうるさいくらいにセミの音が聞こえたが今年はずかだった。流石に八月になった途端に騒がしくなったが、直ぐに長雨で静かになった。降り続く雨に、子ども達も外で思い切りの遊ぶことができません。親子共々ストレスが溜まった事でしょう。でも、秋は、自然が美しく変化し天高く、風爽やかな季節です。楽しい園生活が始まります。子ども達が、グンと伸びる実りの秋です。園外に出掛けよう。運動会、筑波登山等行事も盛り沢山です。自然の中で、思いきり遊びます。



夏祭りへのご協力有難うございました。天候不順の中、沢山の保護者の方にご参加頂いた事、そして役員の方や有志の皆さんのお蔭で、子ども達にとっても楽しいひとときとなりました事を感謝致します。園内では引き続き盆踊りや神輿を担ぎ夏祭りの余韻を楽しんでいます。

**今月の予定の中から...**

- 防災の日(1日)
  - 今年も、アルファ米のおにぎりとけんちん汁を食べます。離乳食の子ども達も缶詰お粥を食べ、「もしも」の時に備えます。
- 交通安全教室(1日)
  - 今月からほしぐみの子ども達も参加します。今回は「止まる練習」を教えて頂きます。
- カレー昼食会を行います。(7日)
  - 4・5歳児は、エプロン・三角巾の用意を子ども達自身で出来るようにしましょう。
  - \*今月は、たいよう・そらぐみの祖父母の方々と一緒にカレー昼食会を計画しています。たいようぐみ・そらぐみの祖父母の方で(一人一人)ご参加頂ける方は9/4(月)までに担任にお知らせ下さい。
- 読み聞かせ(12日)
  - 6月から保育課指導員の宮本先生と栗山先生が午睡をしていない5歳児対象に月に一度絵本を読んで下さっています。
- お弁当デー(20日)
  - まだ暑い日が続くと思われまので、お弁当の中味は冷めてから蓋をして下さい。お弁当の中には乳製品・プリン等要冷蔵のものやこんにやくゼリーは入れて来ない様にお願致します。
- リトミック(22日)
  - 中島先生のピアノの音に合わせて、身体でリズムを表現することも上手になってきました。
- 通報訓練(29日)
  - 今月は、消防署の方々に、園の避難訓練の様子を見て頂きます。消防自動車も来ますよ!



☆お知らせ  
☆敬老の日に寄せて、祖父母の方に手紙を出します。\*詳細は後日お知らせ致します。  
☆5歳児の筑波登山は10月5日(木)です。詳細は後日お知らせ致します。  
☆休職中のにじぐみ担任の鈴木陽子先生ですが、復帰が難しく今月末で退職となりました。

**「非認知能力を育てる」**  
遊びながら、夢中になって鼻をほじくつて、時折それを口に入れていた子がいた。「汚いから止めなさい」といくら注意しても止めない。「そんなに美味しいの?」と聞くと「うん、ちよつとしょっぱいけど」と言い、又鼻糞を口に入れるので、「じゃー先生のあげるよ」と鼻をほじくつて鼻くそを丸める仕草を見ると、「自分のことは自分でしなさい」と言った。その通りなのだ。教育の目的は「自分のことは自分でできるようになること、そして、自分のしたことは自分で責任負うこと。国会では、はぐらかしたり隠したり、ごまかしたり、まともに答えず、うやむやになるまで逃げ廻り、責任をとろうとしない関係ばかりだ。▼幼稚園は遊びを通して、直接体験する場だ。「遊び」は自分でやりたいことを見つけ、試行錯誤を繰り返して、自分で決めて、自分で実行し、その結果について自分で責任を負い、他人のせいにはしない。うまくいかなければ何度でもチャレンジできる。止めるのも続けるのも、すべて自由。他から強制されることも、評価されることもないので、自分の意思で自由にやる。そして、出来た時に、少し鼻を上げて胸を張り、「僕、〇〇ができるよ!見せてあげる」と言ってくる。▼今、事務所の前の山小屋に、子ども達が顔を真っ赤にしてチャレンジしている。年長児の中には、手



を使わずに駆け登れる子が数人いる。年長児がいなくなると、年中・年少児が、手を使い一所懸命に登ろうとしている。もう少し、と言うところで、ズルズルと落ちていく。それでも繰り返しチャレンジしている。こうしていつか必ず成功するようになり、次は手を使わずに登ることにチャレンジする。成功体験を重ねながら、少しずつ難しいことにチャレンジしていく。▼こうした体験が意欲、粘り強さ、忍耐力を育てる。非認知能力が、社会的成功と関連しているとの報告が、中教審でも取り上げられた。非認知能力はIQと関係ない。意欲・協同性・粘り強さ・忍耐力・計画性などの個人的特性は、数値化することが難しい。非認知能力を高めるには、幼児期の生活と躰が鍵になる。就学前の教育投資の有効性が言われている。質の高い幼児教育がこの能力を高める。幼児期には「幼児期にふさわしい生活」「遊び」が大切だ。幼稚園での遊びでは、自由で自発的なものだが、計画的・意図的な仕掛け、環境、教材が必要。遊びの中では、協調性、人と人との調整力(リーダーシップ)自己抑制、忍耐力、交渉力が養われる。絵本の読み聞かせも有効。日本の名門大学の入学者が、幼児期に受けたことで、共通して挙げられたことは、毎日の絵本の読み聞かせだそう。語彙力、知的好奇心、共感性、想像力が付く。毎日繰り返す短時間の座学も、集中力、計画性を育てる。あいさつ、靴を揃える、といったソーシャルスキルも、誠実性、協調性を育てる。時間と自分の物の管理を自分でできるようにになると、責任感と計画性が育つ。▼最後に、お母さんは手を出さず、自分のことは自分でやらせて下さい。必ず出来るようになる。我慢して待ってあげて下さい。

理事長 浅田 精利

